

第47回 菊池 寛賞発表

主催 日本文学振興会

正賞 置時計 副賞 百万円

*井上ひさし

戦中戦後の庶民の真実の姿を活写した『東京セブンローズ』の完成、「こまつ座」の座付き作者としての活躍、そして「ことば」をめぐる軽妙洒脱なエッセイなど、多岐にわたる文学活動の充実。

*中村又五郎

歌舞伎役者として、立役たちやくから老役ふけやく、老女形ふけおやままで、広い芸域のますますの円熟に加え、三十年にわたり国立劇場の伝承者養成事業に携わり、伝統芸能の土台を支える後進の育成を続けた功績に対して。

*産経新聞「毛沢東秘録」取材班

膨大な内部資料や回想記を渉猟し、これまで報道されなかった多くの事実をもとに、日本の新聞ジャーナリズムが初めて毛沢東と文化大革命の全体像を鮮明に浮び上らせた歴史ドキュメント。

*宮脇俊三の鉄道紀行

旧国鉄全線完乗をはじめ世界の鉄道に乗車を続け、これまでレイルファンの趣味の読み物だった鉄道紀行を、文芸の一ジャンルとして確立した。

*国立天文台「すばる」プロジェクトチーム

宇宙を見通す眼、巨大望遠鏡「すばる」を、日本で初めて外国領土ハワイのマウナケア山頂に造る、その構想から完成までの二十年間の研究者及びスタッフたちの情熱と弛まざる努力に対して。

*小澤征爾とサイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

教育者・齋藤秀雄の門下生を中心に結成されたサイトウ・キネン・オーケストラによる音楽会を開催し、松本から最高水準の音楽を世界に送りつける指揮者小澤征爾と松本実行委員会の営為に対して。

(2)

(3)